

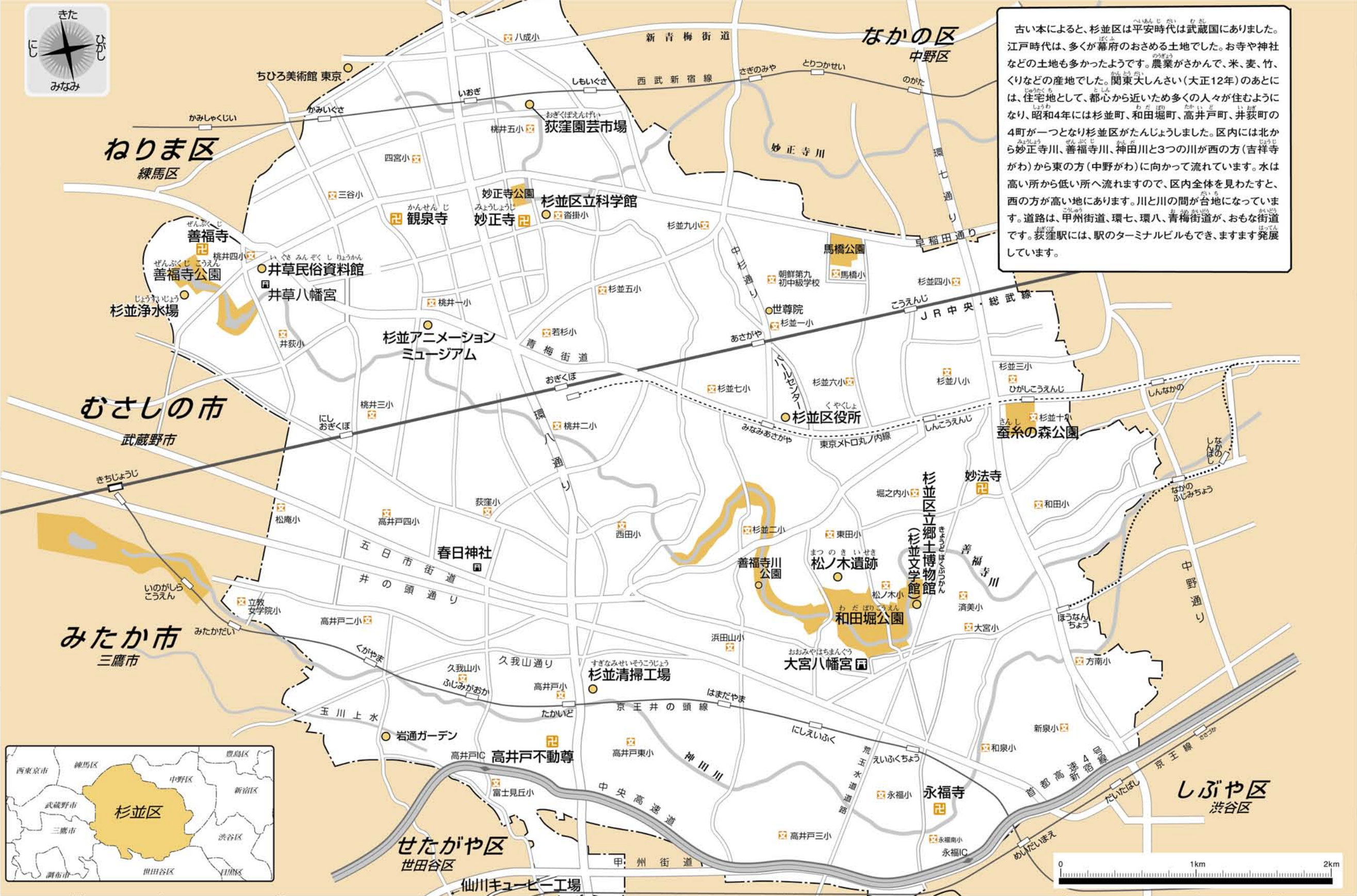
杉並区内見学地図

組 なまえ

お申込:tel 03-3233-1212 fax 3233-1213
www.ets.or.jp welcome@etsovl.net



移動教室



古い本によると、杉並区は平安時代は武蔵国にありました。江戸時代は、多くが幕府のおさめる土地でした。お寺や神社などの土地も多かったようです。農業がさかんで、米、麦、竹、くりなどの産地でした。関東大しんさい(大正12年)のあとには、住宅地として、都心から近いので多くの人々が住むようになり、昭和4年には杉並町、和田堀町、高井戸町、井荻町の4町が一つとなり杉並区がたんじょうしました。区内には北から妙正寺川、善福寺川、神田川と3つの川が西の方(吉祥寺がわ)から東の方(中野がわ)に向かって流れています。水は高い所から低い所へ流れますので、区内全体を見わたすと、西の方が高い地にあります。川と川の間が台地になっています。道路は、甲州街道、環七、環八、青梅街道が、おもな街道です。荻窪駅には、駅のターミナルビルもでき、ますます発展しています。



わたしたち住む街の地形や土地利用、商店街や集落分布の様子がわかります。人々の生活は、自然環境と密接に関わっていることが理解できます。地図に親しむことで位置や地形をより広範囲に関連させて考える習慣が身につきます。記号をつかって絵地図に表現したり地図を読みとる力を養うことができます。